

# 私たちの研究を見てください!

## 第68回研究公開行われる

# 翌 檜 新 聞



志 望 録

第8号  
2019.7.19  
第73代  
伊敷中学生徒会



ソノオドラマ「僕たちの目指す汎用的な資質・能力」を演じる二年生代議員

5月31日(金)、伊敷中  
学校の第68回研究公開があ  
りました。  
今年は生徒と共に取り組  
んだ研究ということで、全  
体会で500名の先生方  
を前に生徒会長が挨拶をし  
ました。また、二年生の代  
議員は汎用的な資質・能力  
についてのソノオドラマを  
披露しました。その後は、  
総合的な学習の時間、各教  
科の授業が行われました。  
来校された先生方からは  
「生き生きとした姿がとて  
も印象的でした。」「み  
んながそれぞれしっかりと  
した考えをもっていた。個  
の力が高く、全体の雰囲気

もとてもよかったです。」とい  
う言葉をいただきました。  
私たちの授業を受ける姿に  
感動された先生方も多かっ  
たようです。これは、私た  
ちが毎日継続して活動して  
いることが誰かの役に立っ  
ているということではない  
でしょうか。  
また、自分たちの学校で  
どのような力を育てたいと  
思っているかを分かっている  
ということも素晴らしいこ  
とだと思います。これから  
の日常生活の中でも汎用  
的な資質・能力を共に身に  
付けていきましょう。  
(安藤総悟)



三年生の総合的な学習の  
時間は、テーマ追究型学習  
でした。各専門班ごとに分  
かれて、今の学習の状況を  
更によくするにはどうすれ  
ばいいのかという話し合いを  
しました。この話し合いの進  
行したのは、各専門班の  
学年部長と生徒会専門部  
部長。どういふふうに話し  
を進めればよいかを何度も  
打ち合わせしながら、充実  
した話し合いを目指しました。  
司会を務めた三年七組福  
永俊太くんは、「初めての  
経験でも緊張した。先  
生や生徒会役員と協力して  
本番は成功しよかった。」  
と話していました。

### 三年総合的な学習の時間

### 教科の学習



国語の授業を受けた二年  
四組の竹添那奈子さんは

この総合的な学習の時間  
の取組は公開授業で終わり  
ではありません。これから  
計画したことを実践し、よ

### 一年総合的な学習の時間

「班での活動が主だったが、  
班長としてしっかりと仕切  
ることができた。来年もあ  
るので、冷静に授業を受け  
られるようにしたい。」と  
話していました。



例年通り教科の学習も行  
われました。  
研究公開は終わりましたが、  
私たちの学びに終わりは  
ありません。これからも  
様々な場面での汎用的な資質・  
能力を意識し、未来に通用  
する創造力を身に付けてい  
きましょう。

### 研究公開の振り返り

6月8日(土)には全校  
生徒で研究公開の振り返り  
をしました。研究公開の一  
日の様子をまとめた映像に  
は、一生懸命授業をする伊  
敷中の姿が認められてい  
ました。映像を見た三年二  
組の宮本翼くんは「自分た  
ちの知らないところでも色々  
な人が頑張っていたんだと  
思った。普段、私たちが当  
たり前に行っていることが他  
の人から見るとすごいと思  
われていることが分かり、  
嬉しかった。」と話してい  
ました。

### 生徒会の窓

6月末から7月  
4日にかけて大雨  
が降り続きました。  
メディアによって  
は8・6水害級の  
水害が起きましたと報  
道されていきました。  
みぎくんは、8・  
6水害について知っていま  
すか。1993年8月6日  
を中心に、鹿児島で起こっ  
た大雨による災害です。甲  
突川等が氾濫し、鹿児島  
の街は浸水しました。また、  
土砂崩れが起こった地域も  
ありました。伊敷中も被害  
を受けたそうです。  
生徒会室には「後世への  
一冊」という冊子がありま  
す。それは当時の伊敷中の  
生徒や先生方が8・6水害  
の体験を記したものです。  
「いつもは歩いて30分で家  
まで着くが車で1時間かか  
った。」「電話がなかなか  
つながらない。」というこ  
とが書いてありました。  
「二度とあってほしくない  
体験」という題名が付けら  
れています。

今回の大雨では命の危険  
性があるということで伊敷  
中も臨時休校となりました。  
過去大きな被害にあった経  
験を生かし、厳重に警戒し  
たということだと思います。  
過去の学びは自分の命を守  
ることに繋がります。過  
去の出来事から学び、防災  
の意識をもつことの大切さ  
を感じた今回の大雨でした。  
当たり前の毎日のありが  
たさを改めて実感します。  
(亀田周杜・西園耕太)

# クラスのために

## 総務・副総務任命式

5月14日(火)の全校朝会で総務・副総務任命式が行われました。校長先生から、各学年代表に任命証が渡され、これから前期をまとめてくれる代議員の表情は、きらきらと輝いていました。

三年四組代議員の中野遙さんは、「最上学年になったのだという実感が湧いた。黄学年が一致団結して学校全体を引っ張っていききたい。」と話していました。また二年五組代議員の古賀友望さんは、「最初はとても緊張していった。でも任命証を受けたときに学級のリーダーになったという実感が湧いた。緑学年をこれから昨年よりパワーアップした学年にしていきたい。」



緊張した面持ちで任命証を受け取る1年生

い。」と熱い気持ちを語ってくれました。

皆さんはどんな学級を作りたいですか。いい学級を作るためには、リーダーとそれをフォローする人たちの存在が必要です。リーダーもフォローも一丸となり、いい集団を作っていきますよ。

(宮之脇楓也・牟禮こころ)

# 日頃の備え

## 地震発生による避難

5月10日(金)に宮崎県の日向灘を震源とする地震が発生しました。皆さんは覚えていますか。伊敷中学校では全クラスが授業を中断し、校庭に

# 魅せる13年間の集大成

6月4・5日の陸上を皮切りに6月11日〜6月18日までの期間に鹿児島市郡中学校総合体育大会がありました。

その前に市郡総体の推戴式が5月28日の全校朝会で行われました。各部の主将がそれぞれの決意を述べていました。また、寺園校長先生からは「メソナルと精神力が大事」「自分が勝った時やチームで優勝した時のイメージをすることも大事」と



激励する校長先生(上) 全力じゃんけんで盛り上がる伊敷中生(下)



避難しました。いきなり発生した地震で多くの生徒や先生方、保護者の方が不安を抱いたと思います。また、災害は突然やってくるというのを実感したことでしょう。

鹿児島市は震度4という比較的大きなゆれでしたが負傷者や建物の被害もありませんでした。この時の私たちの避難の様子について防災係の堤清竜先生は「集合完了がとて速くてよかったです。しかし、数名ふざけている人がいたのが残念でした。」と話されていました。また、登下校時に地震が発生した場合は、「近くに落下物がない所(道路の場合は真ん中)でまずは、頭を守ってほしい。」とおっしゃっていました。

6月18日(火)には、新潟県と山形県などで震度6強という強い地震が発生しました。家屋が崩壊したり液化化現象が起きたりしてけ人も出ました。しかし、早めの避難や対応を行ったため安否不明者や死者はいませんでした。私たちが毎年行っている避難訓練には、大切な意味と目的があるのです。

地震は、予測することが現在には不可能です。周りの人と確認して、いつ起こるか分からない地震に備えましょう。

(宮ノ前那海)

# 気づき、考え、実行する

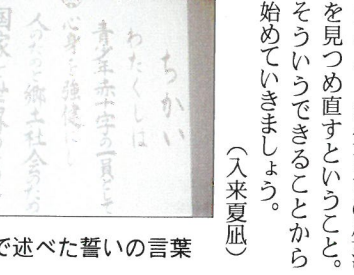
## 青少年赤十字登録式

6月8日に青少年赤十字の登録式がありました。赤十字の創立者アンソニー・デュナンの話や青少年赤十字の行動目標である「気づき、考え、実行する」についての説明がありました。

その後、校長先生は、「世界で食べ物に困っている人たちが多く、伊敷中は残食が多い」ということを話されました。青少年赤十字は自分たちで「気づき、考え、実行する」ということを目標としています。校長先生は、広い視野をもち、自分たちの生活の中でできることに気づき、考え、実行してほしいという思いを話されたのだと思います。

世界の現状を知るといふこと、自分たちの生活を見つめ直すということ。そういうことができることから始めていきましょう。

(入来夏風)



全員で述べた誓いの言葉

# FACE

今回のFACEでは川畑勇司教頭先生にインタビューをしました。



川畑勇司教頭先生

Q1 三年ぶりの伊敷中はどうですか?

(先生は3年前まで伊敷中にいらっやいました。)

A1 一言で言うところ「楽しい。」伊敷中のみんなの目がキラキラしていてどんなことにも一生懸命取り組んでる。そんな生徒たちと一緒に過ごせるのがすごく嬉しい。それに伊敷中は必ずみまで掃除が行き届いていてとても

綺麗な学校だと思う。Q2 中学校時代一番の思い出は何ですか?

A2 盆栽クラブに入っていた。毎日こつこつと菊の花を育ててとても綺麗な形に仕上げられた。それを展示会に出したことが一番の思い出。あとは、英語暗唱大会で頭が真っ白になって何も話せなかったことかな(笑)

Q3 伊敷中生一言。

A3 自分たちがやりたいことに元氣よく一生懸命に取り組んでほしい。また、「スパー」元氣な挨拶ができる伊敷中にしよう!!

伊敷中が大好きな川畑先生は快くインタビューに応じていただきました。御協力ありがとうございました。

(吉屋里紅)

# 編集後記

五月末に研究公開が行われ、たくさんの方々が伊敷中に来校されました。来られた方々に伊敷中の良さを紹介できたでしょうか。来校された多くの先生方からは多くのお褒めの言葉をいただきましたね。

しかし、伊敷中にはまだまだできていない所や課題とすべきところがたくさんあると思います。例えば、メリハリがつかないことや、自分たち

で考えずに指示待ちになってしまふことなどです。そういったところを改善していけば私たちの伊敷中はさらに良くなっていくと思います。

私たちの学校は私たちが作るものです。伊敷中の雰囲気は私たち一人一人が生み出しています。伊敷中について私たちが気付いたことを翌檜新聞を通してみなさんに伝えていきたいと思ひます。これからも翌檜新聞をよろしくお願ひします。

(安藤総悟)